

はじめに



令和6年度は、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」宣言のほか、フードドライブの実施、市役所庁舎や各小中学校など計16施設で使用する電気の再生可能エネルギー由来電気への切り替えなどの施策を実施しました。更に、市域における温室効果ガスの削減目標、施策の方向性を定めた地球温暖化防止対策実行計画（区域施策編）を策定し、地球温暖化防止対策実行計画（事務事業編）の目標値を国の計画に合わせて引き上げるなど、温室効果ガスの削減のため、着実な温暖化対策を実施してまいりました。

また、きれいで安全で、だれもが楽しめる優しいビーチの国際認証制度である「ブルーフラッグ」認証を、興津海岸が2年連続で取得した一方、多様なメディアで“涼しい街勝浦”が数多く取り上げられ、観光や移住などがより活発になってまいりました。このような恵まれた自然環境を大切に維持し、勝浦市総合計画によって目指す将来都市像「～“豊かな自然”に抱かれて “心豊か”に過ごせるまち かつうら～」の実現のため、引き続き環境施策に取り組んでまいります。

この環境白書2024は、主に2023（令和5）年度における本市の環境の現状と環境保全に関する施策の概要をとりまとめたものです。

市民の皆様におかれましても、本書を通じてさまざまな環境問題に興味関心を持っていただければ幸いに存じます。

令和7年3月

勝浦市長 照川 由美子

